

平成25年度

# 事業報告書

平成25年 4月 1日から  
平成26年 3月 31日まで

東京都港区北青山2-5-1  
公益財団法人 伊藤忠記念財団

理事長 小林 栄三

# 子ども文庫助成事業

## 1. 平成25年度 助成件数・金額

本年度の助成件数・金額は、以下の通りとなります。

( ) 内は海外件数、内数 (金額単位：百万円)

	予 算		応募件数	実 績	
	助成件数	助成金額		助成件数	助成金額
① 子どもの本購入費助成	37	11.1	112 (4)	41 ( 2)	12.3
② 病院施設子ども読書支援購入費助成	8	2.4	13 (―)	7 ( 0)	2.1
③ 子どもの本 100 冊助成	32	4.8	46 (10)	27 (7)	3.5
④ 子ども文庫功労賞	2	0.7	6 (―)	2 ( 0)	0.7
⑤ 被災地支援 (東北復興支援)		2.5			1.1
小 計	79	21.5	204 (15)	77 (9)	19.7

### 【指定寄付金に基づく助成】

〈丹羽前理事長よりの指定寄付金〉 ⑥日本人学校/補習校図書助成	30	4.5	55 (55)	30 (30)	4.3
〈伊藤忠商事よりの指定寄付金〉 ⑦ 伊藤忠商事及び社員・株主 100 冊					
⑧ シャンティ 絵本を届ける運動		1.2			1.2

合 計	109	29.7	268 (79)	107 (39)	28.0
-----	-----	------	----------	----------	------

助成金額 合計 28.0 百万円

### ①子どもの本購入費助成 (現金助成)

#### ・対象

子ども文庫 (家庭文庫、地域文庫等) 又はその連合体 (こども文庫連絡会) 等において、子ども達の読書啓発、指導を行っている民間団体、個人。

#### ・内容

図書等の購入、充実を目的とした購入費を 1 件当たり 30 万円助成。

### ②病院独資支援 購入費助成 (現金助成)

#### ・対象

小児病棟等で長期闘病中の子ども達や、心身障害児施設、養護施設等で生活している子ども達に対して読書啓発、指導を行っている民間団体、個人。

#### ・内容

子ども達が様々な障害を乗り越えて読書を楽しむための支援を目的とした図書、機材の購入費、図書作成費等を 1 件当たり 30 万円助成。

③子どもの本 100 冊助成（図書現物助成）

・対象

上記①、②共通

・内容

当財団が選書した 100 冊の児童書セット（小学校低・中・高学年別の 3 種類）のうち 1 セットを贈呈。

④子ども文庫功労賞

・対象

子ども文庫あるいは児童図書館を永年に亘り（概ね 20 年以上）運営されてこられた又は、子ども文庫の普及に貢献されてこられた個人。

・内容

1 名につき 35 万円（5 万円相当の商品、副賞 30 万円）

⑤被災地支援（絵本の現物助成）

・対象

東日本大震災で被災した子ども達。

・内容

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会が主宰する「絵本を贈る運動」に大震災の被災地の子ども読書ボランティア活動のプログラムに組み入れていただき、伊藤忠商事社員ボランティアと共に子ども達に参加してもらった。絵本の届け先は、東南アジアの国。

⑥日本人学校・補習校図書助成（図書現物助成）

・対象

海外の日本人学校・補習校において子ども達の読書啓発・指導を計画又は実践されている学校運営者又は運営ボランティア。

・内容

当財団が選書した小中学校生向け 100 冊の児童書セットを贈呈。

24 年度 : 欧州・アフリカ・中近東 51 校

23 年度 : アジア・大洋州・中南米 52 校

22 年度 : 北米 20 校

⑦伊藤忠商事及び社員・株主による被災地 100 冊(図書現物助成)

・対象

東日本大震災の被災地で子ども達のための読書啓発活動をされている学校又はボランティア団体、個人。

・内容

伊藤忠商事の指定寄付金（社員・株主から集めた寄付金に伊藤忠商事が同額を上積みした金額）を原資として当財団が選書した小中学生向け 100 冊の児童書セットを贈呈。

⑧シャンティ絵本を届ける運動

・内容

シャンティ国際ボランティア会が行っているラオス、カンボジアの子ども達に日本語の絵本に現地語に翻訳したシールを貼り絵本を届ける運動。翻訳シール貼りの作業に伊藤忠商事社員がボランティアとして参加。

なお、25 年度より、2 年間休止していた子どもの本購入費助成及び病院施設

子ども読書支援購入費助成の国内応募者 120件に対する面談を再開し、職員が9月から10月にかけて訪問した。

## 2. 展示会参加

今年度より従来電子図書普及事業のみが参加していた各地の展示会のうち協同で出展なものに文庫助成も参加し、文庫助成の紹介と説明を行い。同時に応募希望者にはリストに記載してもらい4月以降の新規応募開始の際には書類を送ることにした。

	場所
12月	・兵庫子ども読書推進フォーラム
1月	・みやざき子ども読書活動推進フォーラム

## 3. 助成事業部 経費内訳

	予算	実績
・助成金	29.7	25.7
・贈呈式費用	2.8	3.7
・その他 経費	9.9	10.4
・人件費	15.7	17.1
計	58.1 百万円	56.9 百万円

# 電子図書普及事業

障害のために通常の本では読むことが困難な子ども達の読書環境向上をめざし、以下の活動を実施。

## 1.電子図書の制作、配布

平成 25 年度は、55 作品を制作し平成 26 年 5 月に 608 ヶ所に寄贈。

寄贈は前年度制作したものを 5 月より送付開始する。平成 23 年度の送付数は当初全国の支援学校等に配布したが、平成 24 年度からは再送付を希望する寄贈先及び新たに寄贈を希望する学校等に送付している。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
作品数	38	58	58
寄贈先	1154	572	670

## 2.利用促進活動

- ・電子図書利用例の成果を記載した小冊子「わいわい文庫活用術」の続編を作成し全国に配布・紹介 財団ホームページにも掲載。
- ・オリジナル作品 24 作品を制作  
障害の有無に関係なく、どなたでも作品を見てもらえるように、著作権者をお願いし財団独自の作品を制作しており前年度と合わせ 45 作品となった。

## 3.広報・啓蒙活動

【読書バリアフリー研究会の開催】(後援：文部科学省、全国学校図書館協議会、開催地教育委員会)

障害のある子どもたちの読書支援ができる人材育成を目的として一般の方々を対象とした講習を行う。

	場所	参加人員
5 月	・大阪市立中央図書館 ・島根県立図書館	51 28
6 月	・こどもの城(東京青山) ・宮城県視覚障害者情報支援センター	47 32
10 月	・福岡県立図書館 ・広島市立中央図書館	56 22

【講演活動】

財団職員がさまざまな会合において講師等を求められ出席したもの

	訪問先
4月	・福知山市立図書館 研究会
5月	・葛飾区社会福祉協議会 講座
6月	・専修大学文学部「情報弱者支援論」
7月	・横浜市立盲特別支援学校 教員研修会 ・都立江戸川特別支援学校 「PTA説明会」
8月	・子どもの本研究会 分科会 ・都立多摩図書館 教員向け研修 ・信州特別支援教育カンファレンス 講座
9月	・島根県特別支援学校図書館研修会 講座 ・都立視覚障害者情報センター 講座
11月	・川村学園大学「図書館司書講座」
12月	・専修大学「図書館サービス特論」

【展示会参加】

マルチメディアDAISYのデモンストレーションを実施

	展示会名
6月	・全国音訳ボランティアネットワーク総会 東京 ・図書館問題研究会 鹿児島 ・福祉機器展 仙台
7月	・マジカルトイボックス 東京
8月	・信州特別支援教育カンファレンス 長野 ・奈良県立明日香養護学校 奈良
9月	・福井県立盲学校 100周年記念事業 福井
10月	・キッズバリアフリーフェスティバル 高知
11月	・全国図書館大会 福岡
12月	・ATACカンファレンス 京都 ・兵庫こども読書推進フォーラム 神戸
1月	・弱視教育研究全国大会 青森 ・みやざき子ども読書活動推進フォーラム 宮崎
2月	・全国患者図書館サービス連合会 東京

4. 電子図書普及事業部 経費内訳

	予算	実績
・電子図書 事業費	6.0	7.1
・その他 経費	7.5	6.0
・人件費	23.0	21.3
計	36.5 百万円	34.4 百万円